

ほん NPO かわら版

ねん あき ごう
2010年・秋・12号

もみじ

あき ゆうひ て やま もみじ
秋の夕日に 照る山紅葉
こ うす かず なか
濃いも薄いも 数ある中に
まつ かえて つた
松をいりどる 楓や蔦は
やま すそ もよう
山のふもとの 裾模様

たに なが ち う もみじ
溪の流れに 散り浮く紅葉
なみ ゆ はな よ
波に揺られて 離れて寄って
あか きいろ いろ
赤や黄色の 色さまざまに
みず うえ お にしき
水の上にも 織る錦

めいじ ねん じんじょうしょうがくしょうか
“もみじ”は明治44年『尋常小学唱歌』
たかのたつゆき さくし おかのていいち さつきよく
として高野辰之・作詞、岡野貞一・作曲
はっぴょう
で発表されました。

ふたり さくひん はる き きょうしゅう
二人の作品はほかにも“春が来た”や郷愁を
さそ くにほん でんえんふうけい つづ
誘う“ふるさと”、日本の田園風景を綴った
づきよ
“おぼろ月夜”などがあります。

スピリチュアル

れいてき い いみ えいご
「霊的」と言う意味の英語。
じんせい いみ もくてき め み
人生の意味や目的、目には見えないつな
がりを信じたり、感じたりすること。
せいめい ほんしつ たましい がいねん
生命の本質や魂にかかわる概念を
あらわ しゅうきょう
表して、宗教ではありません。
にんげん きゆうきよくてき かだい
人間が究極的につきつけられる課題
い
とされています。

ごくしょ つづ なつ す あきゆう あきかせ
極暑が続いた夏も過ぎ、朝夕はようやく秋風を
かん
感じられるようになりました。

みなさまお元気でいらっしゃいますか。

さいきん しゅうやく
最近、スピリチュアル系の本を読み重ねたのですが
集約すると、

じぶん み まわ お
自分の身の回りに起こることは
すべて、自分が原因であると。
しゃかい お
社会で起こることさえも・・・。

えーっ、なんで？

と首を傾げたくなるのですが、

じぶん み まわ とうじょう hito じぶん
自分の身の回りに登場する人は、すべて、自分を
せいちょう やくめ えん
成長させるためにその役目を演じてくれている。
だから身の回りに起こることは、偶然ではなく、
ひつぜん
必然だと。

だから、ありがとうございます。感謝します。
と言って受け入れる。

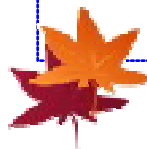
そういう受け入れを継続して続けると、
ひと ひとじしん
人は、その人自身がクリーニングされ
ひとほんらい しんぴ も のうりよく さず
人本来の神秘のパワーを持つ能力を授けられる。
そして、運のよい人、ツキのある人に浄化されてい
くと・・・。

みなさまとのめぐり合いを大切にしていきたいと
ふか おも まいにち
深く思う毎日です。

ホ オボノボノ

(ハワイ語の癒しの言葉です。)

りじちょう みよし きょうこ
理事長 三好 京子

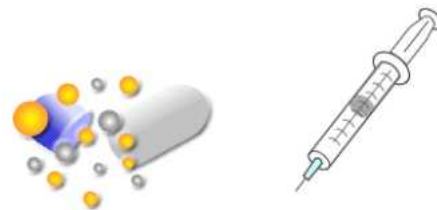


もしも・・・延命治療の具体的内容

前号では、延命治療について書きましたが、それは具体的にどんな治療なのか知りたいとの要望がありましたので、簡単に説明します。

延命治療については、医学界でも意見が分かれており、一概には言えませんが大きく分けると下記の治療方法が挙げられます。

1. 栄養補給（点滴、中心静脈栄養法、経鼻栄養法、胃ろう造設法）
2. 呼吸機能（気管内挿管、酸素マスク、人工呼吸器等）
3. その他（心臓マッサージ、輸血等）



一つの例ですが、胃ろう造設という栄養補給法があります。お腹と胃に穴を開けてチューブでつなぎ、チューブから液状の食物を流し込む方法です。もともとは、子供が事故などで食べることが出来ない間、胃ろうで栄養を補給し、食事がとれるまで回復したら撤去するというものでした。これは「必要な救命治療」で「意味の無い延命治療」ではありません。

実際にあった例を挙げて、栄養補給面での延命治療について記します。

是非の判断は読者の皆様にお任せします。

Aさん（83歳・女性）は、アルツハイマー型認知症を患い、骨も弱くなっており何度も骨折をし、ほとんど会話は成り立たず、寝たきりです。

当初は食事を取れていましたが、高齢と認知症のために、うまく物を飲み込む能力が低下し、誤って食べ物が気管支に入ってしまう、肺炎を起こしました。

最初は治療のために「点滴」で抗生物質と栄養補給をして、後には静脈のなかに心臓の近くまで管を通す「中心静脈栄養法」となりました。しばらくすると感染症が原因で38度近い熱が続きました。そこで、医師は家族を呼び「胃ろう」を造設する手術について説明し同意を得ました。術後1年経過した今でも、生きています。

このケースでも、いろいろな考え方があると思います。

ア．手術してよかった

車椅子で外出したり、一時帰宅が出来るようになった。いつまでも長生きして欲しい。

イ．手術すべきではなかった

寝たきりで、床ずれも出来てしまい、見るに堪えない。ただ、生きながらえているだけだ。栄養補給の中止をしてもらいたいが、医師からは殺人罪になるおそれがあるので出来ないと言われた。

私の個人的な意見は、「回復の見込みが無い状態ならば、すべての延命治療は拒否したい。」ということです。

エンディングノートに書くならば、「苦痛を緩和するための点滴を除いて、点滴、中心静脈栄養法、胃ろうの造設等は、すべて拒否します。また、酸素マスクの装着等の人工呼吸器を使つての延命治療も拒否します。」との一文を加えます。もし、自分に判断能力が残っていれば、胃ろうを造つてもう少し長生きする、生まれてくる初孫の顔を見るまで生きていたいなど、そのときの判断で、手術に同意すればよいことです。

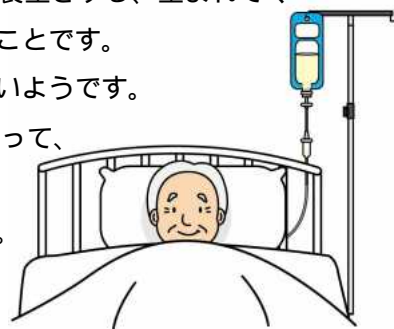
高齢者が必要としているカロリーや水分がどの程度なのかは、実はよく分っていないようです。

私の祖父は84歳で亡くなりました。食欲がなくなり、「食べ物の味がしない」と言って、最後は食事もとりませんでした。

水分だけをわずかにとりながら、苦しんだ様子も無く、枯れるように亡くなりました。

現在は、終末医療として、ホスピスや緩和ケア病棟があります。

一度、家族や親しい友人、知人と延命治療について話し合っておくとよいでしょう。





ふじとざんにつき 富士登山日記

ぜんぺん 前編

もり かずみ
森 佳寿美

9月最初の週末、富士山へ登山に行ってきました。それまで登山の経験は全くなく、前の週に予行練習として初めて登山をしたぐらいの素人です。人生2回目の登山が恐れ多くも日本一の富士山だったわけです。

登山初日、道中の無事を祈って山梨県富士吉田市にある富士山本宮浅間大社にお参りに行きました。富士山はその容姿や雄大さなどから、数多くの宗教が、富士山を何らかの形で信仰・崇拝の対象としてきました。富士山本宮浅間大社は富士山が御神山として祭られ、日本国内に約1300社ある浅間神社の総本宮です。富士山頂上に奥宮もあります。

ごごうめ み ふじさん 五合目から見た富士山

お参りも終わってよいよ出発。スタートは富士吉田ルートの五合目からです。スタート地点がすでに2000メートルを超えています。ここからは高山病に気をつけながら少しずつ進んでいきます。

五合目から七合目までは整備された大きな道です。赤茶けた砂礫の道が続きます。六合目ぐらいまではどこの山にでもありそうな背の高い木が生えていますが、砂礫の道には植物がありません。

砂地であることとその標高の高さから植物が育つことが難しいのです。したがって視界を遮るものが無いため頂上から麓まですべてを見渡すことができます。大きくえぐれた噴火の跡は幅が何百メートルもありそうでした。「こんなところから落ちたらきっと助からないな」そんな地獄のような風景でした。とにかくすべてにおいてスケールが大きく、ただただ圧倒されました。七合目辺りから富士山はがらりと姿を変えます。



ごつごつした急勾配の岩場をよじ登るようにして進んでいきます。砂に埋まった岩は崩れやすく、登山道の脇にある仕切りのチェーンもぐらぐらして頼りになりません。また、道幅が狭くなったために登山者の渋滞でなかなか先へ進めません。この頃から風も強くなり、がけっぷちで待たされるときは恐怖心で景色を楽しむ余裕はありませんでした。

うえ とざんどう み お ふうけい くも せま
上から登山道を見下ろした風景。雲が迫ってきています。

それでも何とか初日のゴール、八合目の山小屋に16時頃到着。標高3100メートルです。初日はここで一泊します。一泊と言っても仮眠をとるだけで23時半には御来光を見るため山頂を目指して出発します。



はちごうめ さんちやう までの おはなし しんねんごう つづ
八合目から山頂までのお話は新年号に続きます。
さて無事に御来光を見られたのでしょうか。後編をお楽しみに。

やまごや み うんかい 山小屋から見た雲海

お料理コーナー

今回は栗よりも、もう少し簡単に手に入るさつまいもを使った「芋きんとん」をご紹介します。
正月までに練習して、おせち料理にもチャレンジしましょう。

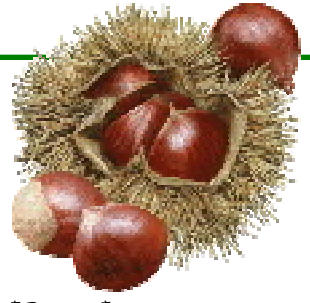
分量

- さつまいも・・・350g
- あれば、くちなしの実・・・1個
- みりん・・・30ml
- 砂糖・・・50g



作り方

さつまいもはきれいに洗って皮をむき、2センチの厚さに切る。
水を張ったボールに入れて、2、3回水を変えながらあく抜きする。
鍋にの芋とかぶる程度の水を入れて、割ってガーゼ(お茶パック)に包んだくちなしの実を入れて火にかける。
芋が煮えたら火を止めて、鍋の湯を捨てる。弱火にして砂糖とみりんを入れ、しゃもじで焦げないように芋をつぶしながら混ぜ合わせ、全体に火を入れる。
このときしっかり練ると、口当たりがなめらかになりツヤが出る。



冷めたら10~12等分し、布巾にとって茶巾に絞り上げる。
くちなしの実は仕上がりの色をきれいにしますが、なくてもかまいません。



編集後記
秋の山は恵みがたくさん。木の実を拾いに山へ行きたくなりました。富士山は日本一の山ですが、裏山には身近な自然があります。この秋、山へ出かけてみませんか？

「エンディングノートを書く会」を十月十九日(火)に開きます。時間と場所は未定です。興味のある方はNPO事務所までお問い合わせください。

特定非営利活動法人 介護賃貸住宅NPOセンター

えいぎょうじかん 営業時間 9:00 ~ 18:00
げつよう 月曜 ~ 土曜 (日・祭日はお休みです)
〒810-0055 福岡市中央区黒門8番2号
092-725-3000

